

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	音楽療法センターコスモスキッズ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月1日 ～ 2025年 3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51 (回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 3月1日 ～ 2025年 3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法に特化した個別支援により、子どもたちが自分の時間を充実させることで、自信を持って自己表現しながら成長できる場となっている。	子どもの興味に寄り添えるよう、楽器だけでなくバランスボールやパラバルーンなど身体活動も取り入れて幅広い活動に取り組める環境を工夫している。音楽療法士が専門性を持って計画的に関わる。子どもが自発的に音楽に取り組めることを尊重し、安心して自己表現できる環境への配慮に努めている。	毎回の支援終了後に保護者との振り返りの時間を作り、音楽療法の内容についてわかりやすく伝える。
2	保護者同伴で来所して頂くことで、子どもの様子や変化をリアルタイムで保護者と共有しながら支援を進めることができる。また、小集団の活動の際は、保護者同士の交流の場にもなっている。	モニター画面から、子どもの支援の様子を観察しながら、スタッフが保護者と対話する時間を作り、子育てサポートを充実させている。	各々のスタッフが積極的にコミュニケーションを取り、リラックスして話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
3	公式LINEを通じて、予約の空き状況を配信していることによって、急な予定変更にも柔軟に対応できている。また、LINEを利用し、保護者と個別にメッセージのやり取りができる。	週に1回は1か月先ぐらいまでの空き状況を配信し、保護者が予定を調整しやすいようお知らせをしている。	空き状況だけでなく、支援や防災に関するお知らせなどを充実させ、よりスムーズにご利用できる体制づくりをしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフだけでなく、保護者や子どもたちも非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う機会を増やすこと。	個別活動の予約が連続している為、まとまった人数での訓練を行う時間を作ることが難しい。	避難訓練の実施日程を通信などで周知する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会が、年に1回の『音フェス』『クリスマスコンサート』に限られている。	個別支援の為、地域の子どもと交流する場面設定が日常的には少ない。	施設内イベントとして、他の子どもたちと一緒に活動する機会を提供できるように体制を作る。
3	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制作り。	直接的に関係機関と連携する機会はほとんどなく、相談支援員が開催するサービス担当者会議での情報共有に留まっている。	相談支援員や保護者を介して、他機関と支援の方向性の擦り合わせができるよう報告書などを通じて連携に努める。